

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2005-103011(P2005-103011A)  
【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)  
【年通号数】公開・登録公報2005-016  
【出願番号】特願2003-341030(P2003-341030)  
【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月27日(2006.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技状態を制御する制御手段と、前記制御手段を収容する被包手段とを備えた遊技機において、

前記制御手段は、

電氣的な動作を行う電気部品と、

所定の回路パターンが形成された制御基板と、

前記電気部品が着脱自在で、装着された前記電気部品と前記制御基板の回路パターンと電氣的に接続する、前記制御基板上に固着された接続部品とを備え、

前記被包手段と前記電気部品との間には、前記電気部品を前記接続部品の方向へ押圧する押圧手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記押圧手段は、弾性体であることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機において、

前記被包手段は、前記電気部品を押圧する位置に前記押圧手段を収容する収容手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記押圧手段は、電気部品本体の全表面に接触し、押圧することを特徴とする遊技機。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれか一つに記載の遊技機において、

さらに、前記被包手段と前記電気部品との間には、前記接続部品に装着された前記電気部品を平面視した状態で当該電気部品の少なくとも一部に重なり、かつ、当該電気部品の周りの所定部分を取り囲む囲い手段を備え、

前記押圧手段は、前記囲い手段を介して前記電気部品を前記接続部品の方向へ押圧することを特徴とする遊技機。

【請求項6】

請求項5に記載の遊技機において、

前記囲い手段は、電気部品の全周を包囲する部材であり、かつ、前記電気部品からの熱を逃がす放熱孔を備えていることを特徴とする遊技機。